



Ⅱ. 平成21年度 決算の概要

「いよぎん保険プラザ」営業開始！
専門スタッフがライフプランをご提案

愛媛県を代表する産業
～造船・海運業～



損益の状況

金利低下による貸出金収益の減少と預り資産収益などの非金利収益の減少により
コア業務純益は減益となったものの、信用コストが前年度比大幅に減少したことで
当期純利益は増益

平成21年度決算(単体)

(単位:百万円)

	20年度	21年度	業績予想 (21/10)	
			前年度比	増減率
コア業務粗利益(注1)	83,284	80,634	△ 2,650	△ 3.2%
資金利益	75,345	74,755	△ 590	
役務取引等利益	5,761	4,799	△ 962	
その他業務利益(除:国債等債券関係損益)	2,177	1,079	△ 1,098	
経費(△)	47,330	47,602	+272	+0.6%
人件費	25,385	25,918	+533	
物件費	19,703	19,308	△ 395	
税金	2,241	2,375	+134	
コア業務純益(注2)	35,954	33,032	△ 2,922	△ 8.1%
①一般貸倒引当金繰入額(△)	878	1,427	+549	
業務純益	27,985	31,074	+3,089	+ 11.0%
うち国債等債券関係損益 (A)	△ 7,090	△ 530	+6,560	
臨時損益	△ 11,181	△ 12,246	△ 1,065	
②不良債権処理額(△)	19,366	12,281	△ 7,085	
株式等関係損益 (B)	7,734	1,186	△ 6,548	
その他の臨時損益	450	△ 1,151	△ 1,601	
経常利益	16,804	18,827	+2,023	12.0%
特別損益	993	2,014	+1,021	
税引前当期純利益	17,797	20,842	+3,045	
当期純利益	11,302	13,044	+1,742	15.4%
経常収益	119,207	101,546	△ 17,661	△ 14.8%

(注1)コア業務粗利益・・・国債等債券関係損益を除く「業務粗利益」

(注2)コア業務純益・・・コア業務粗利益 - 経費

主な増減要因等(前年度比)

コア業務粗利益 ... 前年度比△2,650百万円

- 金利低下等による貸出金収益の減少
- 預り資産収益の減少による役務取引等利益の減少
- 外国為替売買益の減少によるその他業務利益の減少

経費 ... 前年度比+272百万円

- 営業態勢強化のための人員増加による人件費の増加
- 経費削減努力による物件費の減少

コア業務粗利益の減少に伴いコア業務純益は減少

信用コスト(①+②)13,709百万円 ... 前年度比△6,535百万円

①一般貸倒引当金繰入額(前年度比+549百万円)

②不良債権処理額(前年度比△7,085百万円)

- 主にランクダウン、倒産の減少により大幅に減少

有価証券関係損益(A)+(B)656百万円 ... 前年度比+12百万円

(A) 国債等債券関係損益 (前年度比+6,560百万円)

(B) 株式等関係損益 (前年度比△6,548百万円)

- 有価証券関係損益は前年度比ほぼ横這い

経常利益18,827百万円...前年度比+2,023百万円

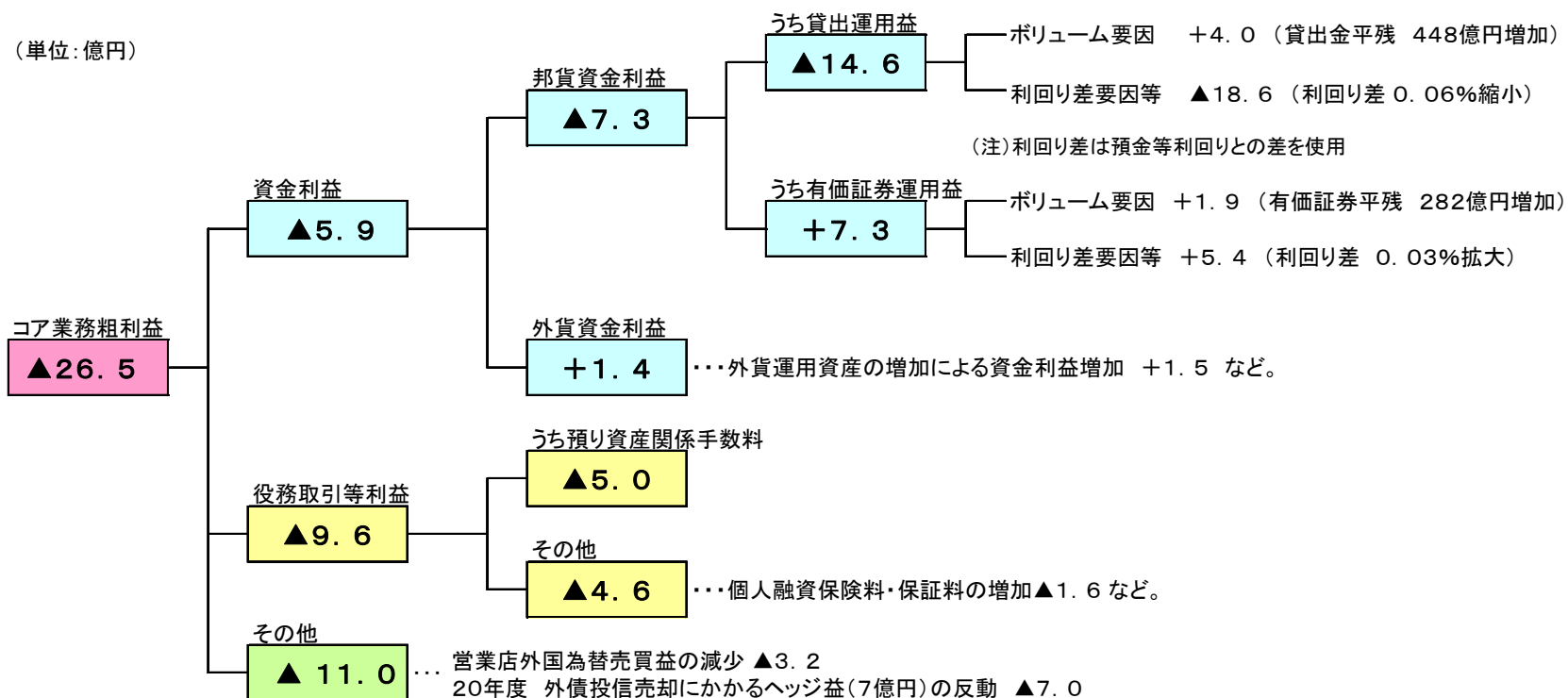
当期純利益13,044百万円...前年度比+1,742百万円

コア業務粗利益の増減要因(21年度)

- 資金利益は、貸出金のボリュームは増加したものの、預金等との利回り差縮小により減益
- 役務利益・その他は、預り資産収益の伸び悩みなどにより減益

20年度比

(単位: 億円)



預貸金・預り資産の状況

- 総預金等＋預り資産で、**5兆円の大台を突破**
- 預貸金ともに、**13年連続の増加**を達成

総預金等・預り資産残高推移

(単位: 億円、百万円)

	21/3	22/3	前年度比	増加率
総預金等	44,496	46,088	+1,592	+3.6%
うち個人預金	29,426	30,244	+818	+2.8%
預り資産	3,729	3,982	+253	+6.8%
投資信託	1,291	1,461	+170	+13.2%
保険	563	696	+133	+23.6%
国債	1,875	1,825	△50	△2.7%
総預金等＋預り資産	48,225	50,070	+1,845	+3.8%
預り資産販売額	886	465	△421	△47.5%
預り資産収益	2,158	1,654	△504	△23.4%

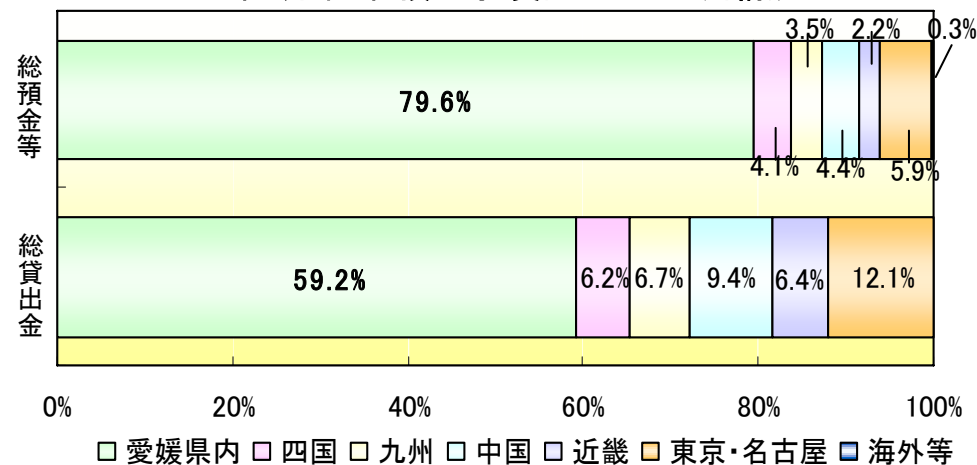
(※) 単位は預り資産収益のみ百万円、その他は億円

総貸出金残高推移

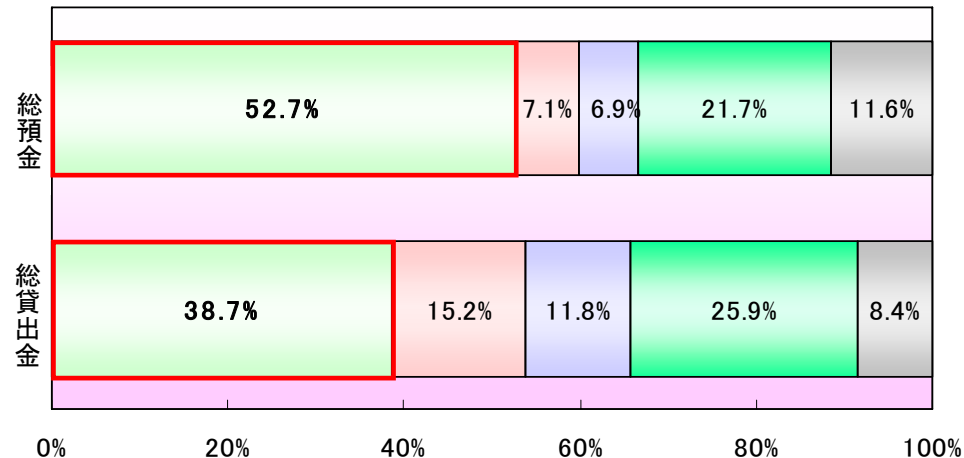
(単位: 億円)

	21/3	22/3	前年度比	増加率
総貸出金	33,681	34,221	+540	+1.6%
一般貸出金	32,198	32,797	+599	+1.9%
事業性貸出金	23,405	23,926	+521	+2.2%
うち愛媛県内	11,756	12,103	+347	+3.0%
うち県内船舶	3,480	3,884	+404	+11.6%
個人融資	8,793	8,871	+78	+0.9%
うち住宅ローン	6,240	6,375	+135	+2.2%

22年3月末 総預金等・貸出金の地区別構成比



22年3月末 愛媛県内シェア(除くゆうちょ・農協等)



信用コスト・開示不良債権の状況

- 信用コストは、倒産による引当が大幅に減少し、**前年度比65億円減少**
- 不良債権比率は、**2.19%**に低下

<要因別信用コスト推移>

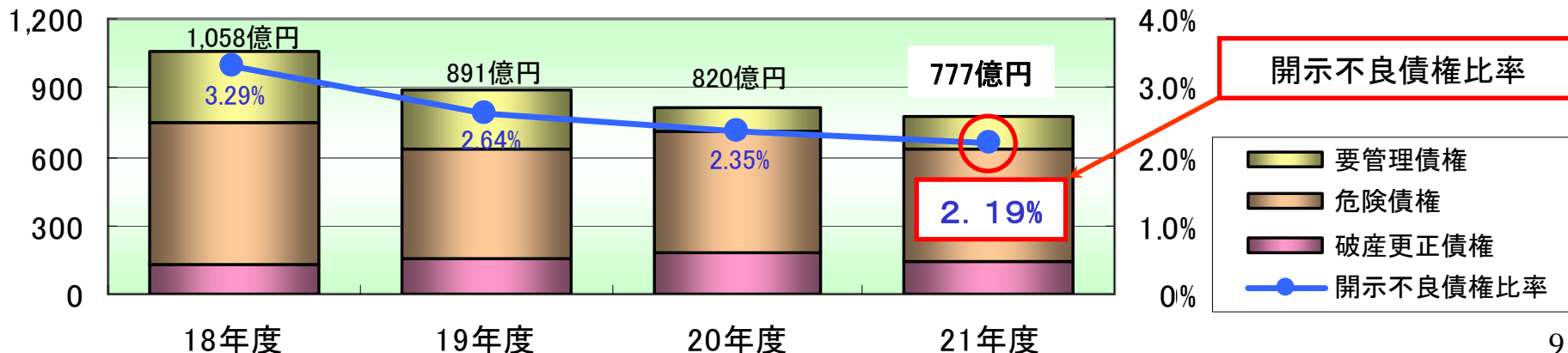
2009年度中計期間

(億円、%)

	18年度	19年度	20年度	21年度	前年度比
信用コスト合計	158	67	202	137	△ 65
倒産	28	40	134	42	△ 92
ランクダウン等	194	76	82	100	+18
ランクアップ・回収	△ 25	△ 56	△ 27	△ 26	+1
償却・売却等	6	3	4	6	+2
一般貸倒引当金繰入額	△ 45	4	9	14	+5
与信費用比率	0.52	0.21	0.61	0.40	△ 0.21p

(※端数処理のため、合計が一致しないことがある)

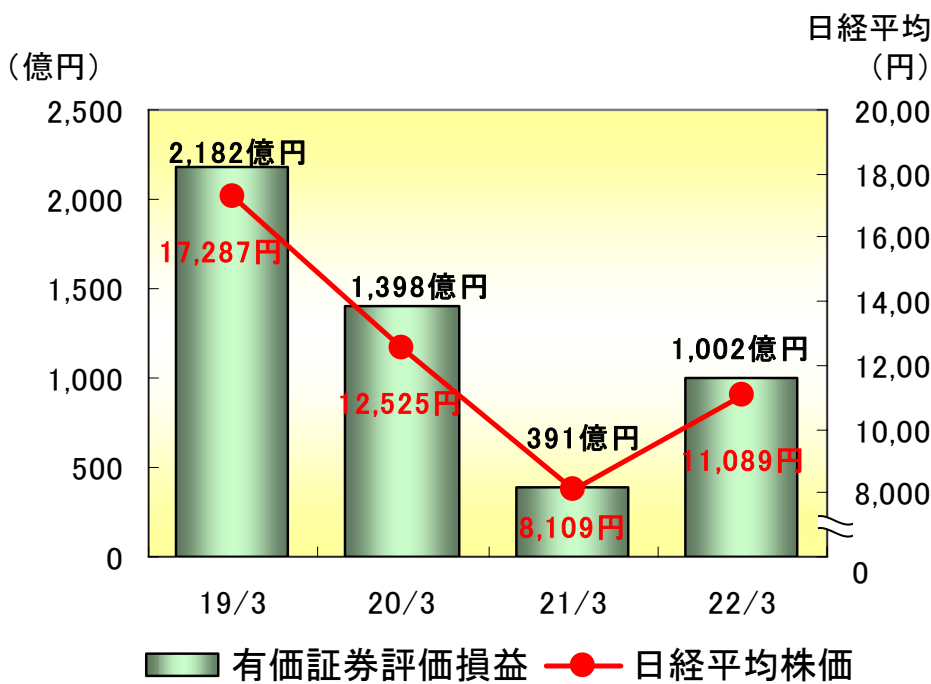
(億円) <金融再生法開示不良債権額・比率推移>



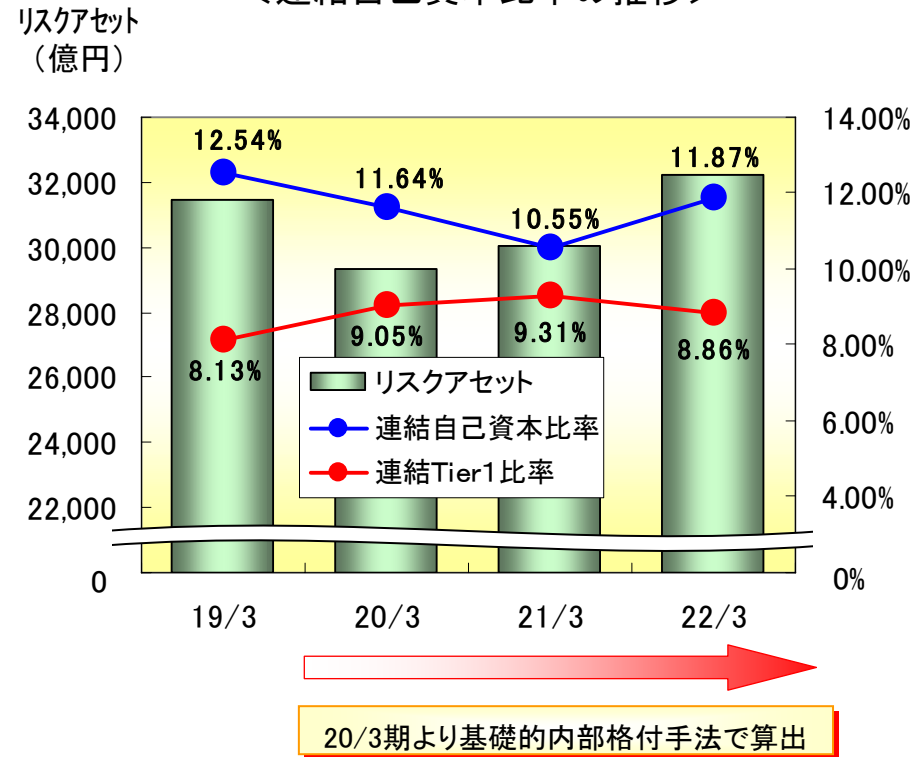
有価証券評価損益および自己資本比率の状況

- 有価証券評価益は **1,002億円** と、**地銀トップクラス** を維持
- 連結自己資本比率(国際統一基準)は、**11.87%**、連結Tier1比率は、**8.86%**

＜有価証券評価益(単体)の推移＞



＜連結自己資本比率の推移＞



(22/3期に 劣後ローン370億円を導入)